



2025年1月22日

株式会社商船三井さんふらわあ

大洗～苫小牧航路の新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」営業航海開始  
～商船三井グループ 3 隻目となる LNG 燃料フェリーが就航～

株式会社商船三井さんふらわあ(社長:牛奥 博俊、本社:東京都千代田区、以下「商船三井さんふらわあ」)は、1月21日(火)新造 LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」(以下「本船」)の営業航海を開始しました。本船は、2006年12月より運航を続けた大洗～苫小牧航路の既存船「さんふらわあ だいせつ」の代替船として2024年12月に竣工、その後習熟航海を経て、2025年1月21日(火)1時45分 大洗発深夜便として営業航海に就き、1月21日(火)19時45分 苫小牧港に到着しました。



本船は、日本で 3 番目の LNG(液化天然ガス)を主燃料として運航する長距離フェリーで、航行時の風圧を低減する最新の船型を取り入れ、環境負荷の大幅な低減を実現し、従来船比約 35% の CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量削減を実現します。

また、客室を全室個室化しトラックドライバーの方々に快適に休息いただける空間を提供することで、モーダルシフトの流れをさらに促進し、「物流の 2024 年問題」の解決に貢献していきます。また、プロムナード、展望浴場・サウナやフィットネスルームなど充実したパブリックスペースを備え、夕方便で好評のウィズペットルームも導入しました。



コンフォート S シングル



プロムナード



案内所前ロビーの様子

なお、大洗～苫小牧航路 2 隻目の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぴりか」も 2025 年初夏の就航予定です。

商船三井グループは、2050 年までにネットゼロ・エミッションを達成することを目指しており、「[商船三井グループ 環境ビジョン 2.2](#)」に沿って、今後も脱炭素・低炭素化実現に向けた「クリーン代替燃料の導入」戦略を推進していきます。内航フェリー事業における環境対応をリードすると共に、将来的には LNG に代わる新燃料の採用も選択肢として研究、検討を続け、業界に先駆けて積極的に取り組んでいく方針です。

■「さんふらわあ かむい」「さんふらわあ ぴりか」関連プレスリリース

[2024年4月11日付大洗～苫小牧航路初の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ かむい」の命名・進水式を実施](#)

[2024年9月4日付大洗～苫小牧航路就航予定の LNG 燃料フェリー「さんふらわあ ぴりか」の命名・進水式を実施](#)

[2024年1月22日付「大洗～苫小牧航路 新造LNG燃料フェリー船体デザインについて」](#)

[2022年2月17日付「最新鋭LNG燃料フェリー2隻の建造を決定」](#)

■「さんふらわあ くれない」、「さんふらわあ むらさき」関連プレスリリース・お知らせ

[2023年1月16日付「日本初のLNG燃料フェリー「さんふらわあ くれない」が大阪～別府航路に就航しました。」](#)

[2023年4月17日付「LNG燃料新造2番船「さんふらわあ むらさき」が就航 大阪～別府航路 4月14日（金）営業航海開始」](#)

---

商船三井グループが設定した 5 つの[サステナビリティ課題](#)

商船三井グループでは、グループビジョンの実現を通じて社会と共に持続的な発展を目指すための重要課題として「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」を特定しています。本件は、5 つのサステナビリティ課題の中でも特に「Safety & Value -安全輸送・社会インフラ事業を通じた付加価値の提供-」、「Environment -海洋・地球環境の保全-」、「Innovation -海の技術を進化させるイノベーション-」にあたる取り組みです。

